

私たちの活動拠点いま、むかし



昭和56年 開館当時の婦人会館



平成19年 ミンクール

胆振地方婦人会館24周年のあゆみ

58年度	57年度	昭和56年度	年度
9・6・5 5・1 5	2・10・6 2・1・4 27・13・3 1	3・6・6 31・29・15 2	月・日
開館。初代館長の野々村康太郎氏、主査、土屋学氏就任 開館記念講演会 アメリカン図書室長 谷貴子氏 「婦人会館落成記念祝賀会」及び「室婦協十周年記念式典」挙行（室婦協主催） 英会話を始め茶道、華道、料理、洋裁、ペン習字、和裁、着付、正月生花など年度末までに12講座開講 家庭教育セミナー（共催5回） 婦人文化講演会（共催）新日鉄総務部長上田治氏 野々村館長、社会福祉事業協会常務理事として転出	第二代館長に内海量夫氏就任 ペン習字、英会話、和裁、手編、茶道、着付、料理、華道、筆ペン、菓子づくり、フランス刺しゅう、絵画入門、家庭教育セミナー（共催）など17講座開講 延べ五、七六二名受講 道内婦人会館協議会館長・職員研修会（当番室蘭市） 婦人文化講演会 戸部アナマリヤ氏 婦人活動リーダー養成講座（共催5回）	華道、和風料理、書道、和裁、英会話、洋風料理、手編、茶道、着付、おせち料理、正月生花、アートフラワー、煎茶道、ひなまつり料理、中国料理、フランス料理等16講座開講 青少年問題を考える放送利用講座（共催13回） 婦人活動リーダー養成講座（共催6回）	主 な う ご き

26団体が活動

5ヵ月運営も軌道

人気上々「胆振地方婦人会

胆振婦人会館が完成

来月1日 備品整備など急ピッチ



建築物が完成し、オープンを持つばかりの胆振地方婦人会館

生涯教育と婦人活動

5/11日 胆振地方婦人会館12日に開館記念講演会

開館記念講演会 室蘭市 来月1日 備品整備など急ピッチ



料理講座

人気高かった

開館記念講演会 室蘭市 来月1日 備品整備など急ピッチ

60 年 度					59 年 度					58 年 度			年度			
2 ・ 10 }	9 ・ 3 }	5 ・ 29 }	4 ・ 30 }	4 ・ 1 }	3 ・ 31 }	10 ・ 22 }	10 ・ 13~12	5 ・ 21 }	4 ・ 1 }	3 ・ 31	3 ・ 21	2 ・ 5 }	月・日			
民俗資料館より田中博主査を迎える 端午の節句料理、家庭料理、ペン習字、藤工芸、文章、手づくりケーキ、正月着付、正月料理、正月生花、表装、初歩の俳句、手編、お店の味中国料理、お店の味にぎりずし、ひなまつり料理など18講座開設 婦人リーダー養成講座（社教と共催6回） 婦人学級講座（社教と共催10回） 一般婦人対象 第2回アンケート調査					②婦人の生涯学習 13日午前・記念講演会「婦人の社会参加」 道立和寒高校長 梅沢京子氏 二日間を通じて展示・喫茶、茶会を実施 婦人リーダー養成講座（共催6回） 田代主査、体育館施設係長として異動					中央SCより田代健二主査を迎える ペン習字、家庭料理、フランス刺しゅう、和裁、英会話、文章、短歌、記憶上達法、パッチワーク、手づくりケーキ、正月着付、成人式着付、おせち料理、正月生花、木彫、シェイプアップ、プロの和食、プロの中華、ひなまつり料理等22講座開講、延べ四、九四六名受講 第一回文化祭（利用者による実行委員会と共催） 12日午前・分科会①婦人の地域活動			利用者及び一般婦人対象アンケート調査実施 婦人文化講演会「女性と人生」 武蔵女子短大教授 常本慈照氏 土屋学主査、勤労青少年ホーム館長として異動			主 な う ご き

10種類を手ほどき

好評の道新漬物教室



講演の説明を熱心に聞く
参加者

植物シークスの香りをかき、
通称国家選手村主将の通称
買物部が四日、幸徳市東
町の組織地方婦人会館で開
かれ、定員を満員以上と上
回る百二十人が詰めかけた。
好評だった昨年に引き続
いてこの教室、今年も同
市内の新製菓家千野野田
さんで講師に招き、にんし
ん開け、にんぐく開けなど
種類の作り方を学んだ。教

妻はデキストを使った料理、千野さんの作った漬物の献立、にしん揚げの揚げ方の実演と長崎、二時間か、アツという曲に過ぎず、おいてく食べるための橋かいて心配りや千野さんの長年の経験に、会場をいっばいにした受講者たちは、きか

郷土見直そう
婦人学級講座スタート



3月からは始まった婦人学級講座

博士をとり、女性の地位の向上を、家庭婦人を対象にした道徳的教養生活の六十年度婦人学校課程が、日からは、組織地方婦人会館で始まった。

同調は、女の立場で武士を考へ、武士を見習ふと地味の色遣ひが、なまけとて金明。毎週一、四月十五日までの計十回開演され、

同調には定員五人を全編に上回る八十八人が参加。開演式では、演劇教育普及長が「同調を日ごの地域活動に大いに生かすべき」とあいさつ。続いて、一週目

は熱心に首を傾げていた十部の予定で演られる同調は、結構豊かな仲間人を演説に迎えたのが特徴で、一週からは演劇、非暴力、構成員教育普及によるユニタス演劇や同調演劇など、日興新日興などの演劇団が主とされている。

にメチキとついていた。
引き続き開催される同教
室の日は夜のはじめ。
マフタ午後一時三十分
半 船場地区サレビスセ
ンターマ六日午前十一時
自鳥羽地区サレビスセ
ンター、午後一時三十分
伊達市社会福祉センター
マフタ日午前十一時登
別所婦人センター

平成元年度	63年度	62年度	61年度	60年度	年度
6・4 2・1	3・6 31・8	6・4 22・1	3・10 31・18~17 6・8 7・20 5・7	3・4 31・1	月・日
鈴木幸夫副参事着任 婦人ゼミナール開講、10回(社教) (勤労婦人センター主催の婦人大学と統合し、会場を交互に実施)	婦人教養セミナー開講、10回(社教) 松村法彦氏、退職	松村法彦氏、館職員として着任 婦人教養セミナー開講、10回(社教)	佐藤道夫社会教育課長が婦人会館館長事務取扱となり、以後、文化、趣味的なものは自主講座にまかせることとなる。 婦人リーダ―養成講座開講(共催10回) 開館五周年記念第二回文化祭(実行委と共催) 17日午前 記念講演会「読むこと、書くこと」 芥川賞作家、八木義徳氏 17日18日、展示、いこい、ステージの各広場を開設 内海量夫館長 退職	田中主査、中小企業センター主査として異動(併任) 窓口一元化により館長と嘱託の二名体制となる。 端午の節句料理、ペン習字、カウセリング入門、家庭料理、初歩の和裁、冷菓デザート、茶道、正月用着付、正月料理、川柳入門、プロの味(洋食・和食)、外国の家庭料理等 12講座開講	主 な う ご き

文化趣味講座は最後となりました。最終講座を飾ったのは「表装講座」や「川柳講座」いずれも人気が高かった。

八木義徳先生をお迎えした第二回文化祭



応募者多数のためオリエンテーションの後、抽選となるカウセリング入門講座

婦人講座の受講生募る

初回「カウセリング入門」(初級)などの講座が、多岐にわたる。受講生は、定員に達しない限り、抽選で受講生を選定する。受講料は、初級は無料、中級は100円、上級は200円。受講生は、抽選で受講生を選定する。受講料は、初級は無料、中級は100円、上級は200円。受講生は、抽選で受講生を選定する。受講料は、初級は無料、中級は100円、上級は200円。

「カウセリング入門」

カウセリングいか

婦人応募 超人気講座始
定員の1倍

市内各所で開催される「カウセリング入門」は、初級、中級、上級の3コースがある。初級は、基礎知識を学ぶ。中級は、応用知識を学ぶ。上級は、実践知識を学ぶ。受講生は、抽選で受講生を選定する。受講料は、初級は無料、中級は100円、上級は200円。



手づくり文化祭のポスター

お母さん、参加してみない？

3 年 度							2 年 度	平成元年度	年度
12 ・ 12	11 ・ 11	11 ・ 6	10 ・ 28	10 ・ 19~17	9 ・ 15	7 ・ 1	10 ・ 6 ・ 3 ・ 1	2 ・ 12 ・ 10 ・ 20 ・ 1 ・ 7~6	月・日
同報告書を発行 空知婦人会館との交流研修を実施 開館10周年記念リーダー養成事業 三市合同婦人リーダー国内派遣研修事業実施6名派遣 豊平区より婦人団体交流の為、来館（室婦連と交流） 18・19日 展示、軽食喫茶、茶道、ステージ、リサイクリバザールの各広場 開設 北海学園大学教授 山中燦子 氏 「21世紀へ向かう女性へのメッセージ」 17日 午前、記念講演会（館と共催） 開館10周年記念第三回文化祭を開催（利用者の会主催） 国際ソロ、国際交流セ、福岡慧子さん参加 海外派遣研修事業（アメリカ・カナダ班） 満10年を記念し、「胆振地方婦人会館だより」創刊号を発行 婦人会館が女性行政の窓口として一本化された 山本タカ子館長、高齡化対策室主幹として栄転 第五代館長に長木谷倫法氏（総務部主幹）、主査（総務部女性担当）に成田君枝氏就任							発の女性館長 山本タカ子氏就任 婦人ゼミナール開講、10回（社教と共催） 「利用者のつどい」の要望事項や新年度の10周年記念事業について予算措置が行われる。	道内婦人会館協議会、館長・職員研修会（当番として室蘭で開催一泊二日） 婦人会館利用者に対するアンケート実施（社教） 鈴木幸夫副参事、退職	主 な う ご き

長木谷館長と共に就任された初の女性主査。いつもやさしい笑顔で女性たちに親しまれた5年間、ご苦労さまでした。

「開館中の婦人行政の窓口が一本化された

ナイズミズ

向上心持つ女性多く

め、七月から市で初めて女性館長主査として勤務しています。前から女性の活躍の場が増えていきましたが、ここにきて、ケースワーカー、五半余



室蘭市総務部女性担当主査・胆振地方婦人会館主査 成田君枝さん

胆振地方婦人会館館長

山本 タカ子さん



初の女性の胆振地方婦人会館館長として手紙が期待される山本タカ子さん

初の女性館長就任 「館主催の事業を」

四月一日の室蘭市婦人会館で、初代館長として就任された山本タカ子さんは、市議会議員を務める。市議会議員として、市議会議員としての活動に力を入れていく、と意気込みを語っている。

「これまで、地域の女性で、婦人会館の活動に参加して、館主催の事業に力を入れていく、と意気込みを語っている。」

利用者に惜しまれながら老年ヶ月の在任で
高齡化対策室主幹に栄転

5 年 度			4 年 度			3 年 度			年度			
6・22 ↓	5・1	4・1	3・25	3・2	11・17	11・9	10・6	6・2	4・17	4・16	4・1	月・日
婦人会館第二駐車場を設置。テクノセンター側に20台分土曜日完全閉庁実施。館の利用は出来るが申請手続きは金曜日までに 平成五年度女性ゼミナール開講式及び記念講演会（11月16日まで全11回開講）			第二、第四土曜日閉庁となり、館利用は従来通りだが申請手続きは金曜日までに（第二、第四週のみ） 昨年度（平成三年度）利用者実績五二、九三三人。開館以来最高の利用者数となる。「10周年記念行事で弾み」と新聞発表（北海道新聞） 利用者の会要望により、展示ホールに移動式照明10基設置。展示ホール利用者に利便 平成四年度女性ゼミナール開講式及び記念講演会 （婦人対象の事業を社会教育課から移管され、従来の婦人を女性に改称。11月まで全11回開講） ・テーマ「男女共同参画型社会へ向けた生涯学習のあり方」 ・講師 元北海道青少年婦人局参事 渡辺光子 氏 女性ゼミナール特別講演会 ・テーマ「イタリアの女の生き方」 ・講師 中部大学国際関係学部講師 宇田川妙子 氏 三市合同婦人リーダー国内派遣研修（館担当となる） 参加者：時田昭子・蝦名八重・木下艶子・内藤洋子 小笠原富美子・小林理恵子（四泊五日の研修） 女性ゼミナール最終講義及び閉講式 26名の受講生（8回以上出席）に修了証書を授与 女性の自立プラン啓発講演会（プラン協と共催） ・「人生のイメージトレーニング」藤谷榮也氏 平成四年度室蘭市婦人会館運営委員会開催									
主 な う ご き												

3市婦人リーダー国内派遣研修 参加者が成果報告



今月初めに室蘭・登別・伊達三市合同婦人リーダー国内派遣研修に参加したメンバーが二十七日午後、研修終了の報告に室蘭市校所を訪れた写真。

研修には、室蘭から婦人団体などで活躍する時田昭子氏らが出発した。

交流深め知識吸収を 室蘭の婦人リーダー国内研修メンバー 時田さんら出発あいさつ



時田市長に出発のあいさつをする研修参加者たち

広がる「女性の余暇」



女性の余暇活動が広がる。室蘭市校所での活動の様子。

開館以来の最高 10周年記念事業で弾み



10周年記念事業で弾み

6 年 度						5 年 度						年 度		年度					
6 ・ 21	6 ・	～	5 ・	4 ・ 15	4 ・ 1	4 ・ 1	3 ・ 31	3 ・ 25	2 ・ 16	11 ・ 20	11 ・ 16	11 ・ 8	10 ・ 5	7 ・	月・日				
婦人会館も他事業所同様ゴミ有料化となる。 清掃管理体制が変わり（失対から任意就労）、人員減となる。 利用者に使用の後の整頓を呼びかける。 利用者の会の要望にこたえ、2F湯沸室に茶道具設置 小茶棚2・湯呑120個・ポット4・急須4・湯こぼし2 花壇づくりの奉仕を受ける。生協生花部紺野幸雄氏の 寄贈：オンコ、石楠花、バラ外花苗木多数、肥料。植栽 と数回に渡る手入れ：室蘭生協組合員有志 女性ゼミナール開講式及び記念講演会 （11月22日まで全11回開講）						・テーマ「女性として現代をどう生きるか」 ・講師 光塩学園女子短期大学教授 佐藤朝子氏 館内改装：1Fホール、2F廊下の壁クロス張替 2F廊下の大照明2基増設し明るくなる。 女性ゼミナール・高齢者教室合同特別講演会を開催 ・テーマ「人生80年時代、女と男のいい関係」 ・講師 ノンフィクション作家 沖藤典子氏 於蓬岐殿 参加者四五〇名 三市合同婦人リーダー国内派遣研修（四泊五日） 参加者：佐々木富美子・花岡登子・門馬ヨシエ 中里洋子・岸紀子・佐藤綾子 平成5年度女性ゼミナール最終講義及び閉講式 本間柳風氏揮毫による「平成5年度室蘭市女性ゼミナール講演・講義タイトル集」展。於展示ホール 平成5年度室蘭市婦人会館運営委員会開催 胆振地方婦人会館だより第6号発行 平成6年度女性のための行事案内発行									主	な	う	ご	き

国立大の現状学ぶ

女性ゼミナール始まる

平成6年度室蘭市女性ゼミナールが二十一日から開講式が行われ、参加した女性たちは国立大学の現状や在り方、今後の課題などを学んだ。

開講式では、国立大学の現状や在り方、今後の課題などを学んだ。開講式では、国立大学の現状や在り方、今後の課題などを学んだ。

国立大学の現状や在り方、今後の課題などを学んだ。開講式では、国立大学の現状や在り方、今後の課題などを学んだ。



家庭、地域、社会の知識を広めようという趣旨で女性ゼミナール

平成5年度室蘭市女性ゼミナール開講式が二十一日、市会館で開かれ、約百五十人が参加した。開講式では、室蘭市女性ゼミナールの趣旨や、今後の活動について説明が行われた。また、室蘭市女性ゼミナールの開講式が二十一日、市会館で開かれ、約百五十人が参加した。開講式では、室蘭市女性ゼミナールの趣旨や、今後の活動について説明が行われた。

室蘭市女性ゼミナールの開講式が二十一日、市会館で開かれ、約百五十人が参加した。開講式では、室蘭市女性ゼミナールの趣旨や、今後の活動について説明が行われた。

室蘭市女性ゼミナールの開講式が二十一日、市会館で開かれ、約百五十人が参加した。開講式では、室蘭市女性ゼミナールの趣旨や、今後の活動について説明が行われた。

室蘭市女性ゼミナールの開講式が二十一日、市会館で開かれ、約百五十人が参加した。開講式では、室蘭市女性ゼミナールの趣旨や、今後の活動について説明が行われた。

室蘭市女性ゼミナールの開講式が二十一日、市会館で開かれ、約百五十人が参加した。開講式では、室蘭市女性ゼミナールの趣旨や、今後の活動について説明が行われた。

記念講演で早速学習

室蘭市女性ゼミナール始まる

平成5年度室蘭市女性ゼミナール開講式が二十一日、市会館で開かれ、約百五十人が参加した。開講式では、室蘭市女性ゼミナールの趣旨や、今後の活動について説明が行われた。



室蘭市女性ゼミナールの開講式が二十一日、市会館で開かれ、約百五十人が参加した。開講式では、室蘭市女性ゼミナールの趣旨や、今後の活動について説明が行われた。

室蘭市女性ゼミナールの開講式が二十一日、市会館で開かれ、約百五十人が参加した。開講式では、室蘭市女性ゼミナールの趣旨や、今後の活動について説明が行われた。

室蘭市女性ゼミナールの開講式が二十一日、市会館で開かれ、約百五十人が参加した。開講式では、室蘭市女性ゼミナールの趣旨や、今後の活動について説明が行われた。

室蘭市女性ゼミナールの開講式が二十一日、市会館で開かれ、約百五十人が参加した。開講式では、室蘭市女性ゼミナールの趣旨や、今後の活動について説明が行われた。

男女のあるべき姿説く

室蘭市女性ゼミナールの開講式が二十一日、市会館で開かれ、約百五十人が参加した。開講式では、室蘭市女性ゼミナールの趣旨や、今後の活動について説明が行われた。



「生活に自立した男性であるべき」と説く沖藤典子さん

7 年 度					6 年 度					年度
11 ・ 7	10 ・ 31	7 ・ 19	6 ・ 1	4 ・ 25	3 ・ 28	2 ・ 21	11 ・ 22	3 ・ 11	11 ・ 9	10 ・ 10
平成六年度婦人会館の利用状況発表 二千四百六件、四万九千五百七十二人。一般利用が増え、 婦人団体・サークル活動は定着（室蘭民報） 女性ゼミナール開講式及び記念講演会（全10回講座） ・テーマ「女性の住みよい社会をみざして」 ・講師 道新オントナ編集長 野谷悦子氏 第6代館長に笹浪俊清氏就任（女性担当主幹兼務） 前館長の長木谷倫法氏は観光振興課長として異動 「平成七年度地域づくり海外交流セミナー」へ研修生と して時田昭子さんを派遣（米・カナダ13日間） 三市合同婦人リーダー国内派遣研修（四泊五日）					・「大学改革の現状とその意味」市民と大学の接点 ・講師 北海学園大学教授 城谷武男氏 国際家族年記念、女性ゼミナール・高齢者教室合同 樋口恵子さん特別講演会 ・テーマ「今、家族がかわる 地域がかわる」 ・講師 評論家、東京家政大学教授 樋口恵子氏 於ホテルセビアス 参加者九〇二名 三市合同婦人リーダー国内派遣研修（四泊五日） 参加者：長澤節子・堤 良子・奈良玲子 真柳宏子・加藤光子・新宮教子 展示ホールにミニ作品展相継ぐ：日本画（ひこばえ） 木彫（でんでん虫）・パッチワーク（キルト） 川柳（わだち川柳会）・木彫（木蓮会） 女性ゼミナール最終講義及び閉講式 婦人会館運営委員会開催 女性の自立プラン啓発講演会（プラン協との共催） ・テーマ「ジェンダー論でみる女性と男性」 ・講師 藤女子短期大学非常勤講師 林美恵子氏					主 な う ご き

室蘭市初の「女性の意識調査」を手がけられ、中味の濃い在任一年間でした。

「これまでと180度違う職場で、戸惑っています。市民と触れ合う機会が多くなり、イチから勉強です」と話すのは、7月の室蘭市の人事異動で組織地方婦人会館長になった笹浪俊清主幹（総務部女性担当）。市では女性の意識調査を行うなど、女性の社会参加や広く意見を収集する姿勢を打ち出している。

前職は市社会福祉協議会への派遣で、高齢者の職業相談やあっせんなどに当たってきた。相談者は多いが雇い先は少なく、行政としてジレンマを感じていたと、相談者の対応に苦労してきたよう。初の女性担当については「会館は交通の便もよく、利用者も増えている。女性のパワーでまちの活性化を図っていきたい」と前向きな姿勢だ。

同館では女性の意識アンケートのほか、3市合同の婦人リーダー国内派遣の事務局を務め、来年は開館15周年を迎えるなど、重要な事務処理や行事が重なる。「何もかも初めてづくしだが、早急に前任者と引き継ぎを済ませたい。中でもアンケートの実施は全力投球していきたい」と心機一転で臨んでいる。

47.7. 民報

笹浪俊清さん 女性意識アンケートに全力投球

最近、東町4・29・1の組織地方婦人会館で、館利用者サークルによるミニ作品展がロビーを飾っている。長木谷倫法館長は「昨年末から、ほつほつと展示の申し込みがあり、常時ロビーに作品が並ぶようになってきた。利用者の励みにもなり、ぜひミニ作品展を継続していきたい」と話している。

現在、同館では学習グループや書道、料理、絵画、手芸サークルなどの55団体が利用している。3年前からロビーに12基のスポットライトを設置して、作品の展示広場として開放してきたが、利用が少なかった。このころは日本画、木彫、パッチワーク、川柳（2月25日まで）と続き、木彫（2月27日～3月20日）、ペン習字・書道（3月20日～4月10日）と、申し込み予約がびっしり。長木谷館長は「運転免許更新講習会など、人の出入りが多い会館なので、サークル活動を知るきっかけになり、ロビーも作品があると華やかになる」と喜ぶ。

同館は婦人団体やサークル、趣味活動の拠点として開館し、来年は15周年を迎える。「今から来場者に館の活動をPRして、その時が来るまで盛り上げたいものです」と話し、ミニ作品展の継続に期待を寄せている。

長木谷倫法さん ミニ作品展展覧したい

在任四年間、館内設備の改善、整備を次々と手がけられ、利用者に喜ばれました。

8 年 度										7 年 度			年度
3	2	12	11	10	11	11	10	7	4	3	2	11	月・日
28	19	11	27	22	19	9	~	5	25	3	5	28	
女性セミナー「いきいきトーク」及び開講式 パネラー：中村実氏・三村美代子氏 コーディネーター：佐々木直美氏 開館15周年記念文化祭特別講演会を開催（共催） ・テーマ「ひとりではいられない」 ・講師 作家 小椋山 博氏・二百二十名参加 移動女性大学開講（道立女性プラザと共催） 「室蘭市女性の意識調査」の結果を発表 室蘭市婦人会館運営委員会開催 室蘭市女性の自立プラン講演会（プラン協と共催） ・テーマ「男女共同参画の視点に立つて」 ・講師 札幌地方裁判所・簡易裁判所民事調停委員 長井敬子氏										参加者：秋山和歌・菅野嶺子・浅利代利恵 中川恵美子・金本栄子・神尾紀恵子 女性セミナー最終講義及び閉講式 7回以上出席者30名に修了証書を授与 「室蘭市女性に関する意識調査」の実施、住民基本台帳 より無作為抽出、20代以上の女性千名に送付 女性の自立プラン啓発講演会（プラン協と共催）			主 な う ご き
第7代館長に木村一成氏、主査に村岡徳子氏就任 女性セミナー開講式及び記念講演会開催（9回開講） ・テーマ「女性学ってなに？」 ・講師 東海大学文化学部長 岡田 淳子 教授 女性リーダー国内派遣研修（上級）（三泊四日） ・参加者：二階堂恭子・原きみ子、神奈川県藤沢市 三市合同婦人リーダー国内派遣研修（四泊五日） 参加者：小田野千鶴子・仁岸トモエ 江畑幸子・鎌田美智子													

昨年7月に社会教育主事の資格を得た室蘭市教育委員会社会教育部の木村一成さんが、4月1日付で市総務部女性担当主幹と組織地方婦人会館館長に就任した。館に社会教育主事を一と長年呼び続けてきた女性たちの要望がなかった。「女性活動の歴史や団体の活動方針、社会情勢など、一から勉強です」と謙虚に語っている。



これまでの社会教育課や青少年課などで、お年寄りの団体や青少年団体との連携に役立っていた。「今度は活動する女性から主婦まで幅広い女性と相手。女性の民生委員や母親クラブの会員たちと、これからも交流を保つことはうれしい」と温和な笑顔を浮かべる。前館長から受け継いだ女性に関する意識調査の集計結果を基に、女性たちの声の聴き上げを5月中に行う予定。結果を参考にしながら女性セミナーなどの既存の事業にも手を加え「魅力づくりにも力を入れたい」という。何事においても仲良く、をモットーに、「館の運営方針の改善なども女性たちと話し合っていきたい」と意欲を見せる。

木村一成さん 何事も仲良くをモットーに

室蘭市の女性教育、女性行政の推進に真剣に取り組み、女性活動の推進に木村館長と新進気鋭の村岡主査

組織地方婦人会館主幹の室蘭市女性セミナーが、7月3日から始まる。担当する室蘭市総務部女性担当の村岡徳子主査は「自分らしく生きることが何より大切だ」と天啓の参加を呼び掛けている。

恒例事業だった女性セミナーを「マンパワーについて、あらためて考えていこう」という趣意を込めて名称を変更。内容も法律や女性学、女性の意識の変遷などを盛り込んだ講義へと一新させた。講師を札幌から積極的に招いていることから「なんとなく古いイメージを受けそうですが」と前置きして、「これまでの、学ぶ機会の提供だけでなく、学んだものをいかに活用するかを一緒に考えていきたい」と話す。

4月に赴任したばかり。「まだ手探り状態が続いていますが、館長と協力して、活動を通して生き生きとしたい」と笑顔を見せている。

室蘭市女性セミナーの締め切りは今月25日。申し込み先は組織地方婦人会館（4458184番）へ。



村岡徳子さん 学んだものの活用したい

年度										年度
9 年 度										月・日
3・末	3・6	2・20	11・8	11・10	11・22	7・5	6・3	5・7	5・2	4・1
「行政改革プラン21」に伴う窓口一元化により、中小企業センター受付業務が婦人会館事務室へ移動。 婦人会館専用のフアクシミリを設置 各研修室に防災レールスカーテン新調 「第8回滋賀女性の船」研修団員51名来訪。 市内婦人団体から31名参加し、「共生社会へパワーアップ」のテーマで交流研修会が開催（滋賀県教委主催）され、男女共同参画社会を目指す21世紀の社会を展望する学習機会となった。 平成9年度女性セミナー開講式・開講講演会 「のりゆきの本音でトークーらしさから個性の時代へー」フリーキャスター 佐藤のりゆき 氏 同セミナー開講式及び最終講座「みんなでトークー何がしたい、何ができる、自分さがしのスタートをきろうー」コーディネーター 中島幼稚園園長 中村 實 氏 7回以上の出席者25名に修了証書を授与。 三市合同婦人リーダー国内派遣研修四泊五日 研修生 小平美佐子・金子富枝・川崎祐子・田中謡子 引率者 村岡徳子主査 研修地 東京・埼玉・神奈川 男女共同参画特別講演「落合恵子さん講演会」 「自分にこぼりー自立と共生ー」約千名参加 平成9年度婦人会館運営委員会を開催。 男女共同参画啓発講演会（プラン室蘭推進協と共催） 「男女共同参画による社会変革」 文化女子大学室蘭短期大学教授 菊地敬夫 氏 会館利用件数二、六二二件 利用者数 四六、一六二名										主 な う ご き

～落合恵子さん講演～

市民1千人の心をとらえる

「もうと自分らしさを」

男女共同参画社会をめざした「落合恵子さん特別講演会」

落合恵子さんは、市民1千人の心をとらえる講演会を開催された。

講演内容は、市民1千人の心をとらえる講演会を開催された。

よつぐいそ室蘭へ

滋賀女性の婦人団体と

船団員ら

豊かな人生送ろう

室蘭市女性セミナー

のりゆきさん、本音、の講演

宝島市女性セミナー

「これからの女性の生き方」を伝える後編のりゆきさん

室蘭市女性セミナー最終回

「みんなでトーク」

新人生アドバイス

平成9年度室蘭市女性セミナー

「みんなでトーク」で締めくくった

「新人生アドバイス」

「みんなでトーク」で締めくくった

「新人生アドバイス」

豊かな人生送ろう

室蘭市女性セミナー

のりゆきさん、本音、の講演

宝島市女性セミナー

「これからの女性の生き方」を伝える後編のりゆきさん

年度													主 な う ご き
度													年
10													年
3 ・ 31	3 ・ 31	3 ・ 8	2 ・ 24	11 ・ 21	11 ・ 2	10 ・ 29	9 ・ 25	7 ・ 21	5 ・ 29	5 ・ 20	5 ・ 12	5 ・ 10	月・日
婦人会館定期利用団体の利用内容調査（6月末まで） 内規による登録団体把握のため。 玄関前方に外灯を設置。夜間利用者のための安全の為。 2F和室の畳の表替及び襖の張替 調理実習室にガス給湯器一台設置 調理実習室は暖房用ボイラーによる給湯システムなので暖房期間（11月～翌年4月）以外は給湯設備がなく、料理部門からかねてより要望が寄せられていた。 平成10年度女性セミナー開講式及び開講講演会 「もうすぐ21世紀、あなたも私もパワーアップ」 財界さっぽろ取締役編集長 枝木 順子 氏 本年度より女性セミナーを前期（教養コース）後期（女性学コース）に二分し、学習内容を明確にした。 同「教養コース」開講講演会 「北海道を支えた女性たち」 女性史研究家 高橋 三重子 氏 三市合同女性国内派遣研修（四泊五日） 研修生：菅原美子・中島富子・駒木洋子・森君江引率者：村岡徳子 研修地：東京・埼玉・神奈川 後期女性セミナー（女性学コース）初開講 毎土5回 ワークショップ 道教委社会教育主事 山口 悟 氏 平成10年度室蘭市婦人会館運営委員会開催 男女共同参画啓発講演会（参画プラン市推進協と共催） 「あなたはどんなパートナー？」 小山忠弘教授 嘱託職員の佐藤正氏 退職 10年度会館利用件数二、八一四件 利用数五〇、六五一名													

男女の性差意識学ぶ

—空間市女性セミナー始まる—

交流深め体験など発表

「昭和十一年開市、市立住宅を建設するに先立、市立第一幼稚園を建設し、翌園日の午後、落成式、計四園にわたって、衣更着の香く、幼稚園生、シスターの娘、婦人から学術等、今回は三十一、七十七歳の女性、三十一歳、そのうち三園は有給者、教師、シスターから、引見観察、学友、同生もいふ、多量に、来た」



「トてもそれの性質は、
「二つ、三つに分たす
をテエラク。第六、七人、
「明らかとを知らしむ、

魅力を生かして

生活の変革訴える



もっとパワーを

目的「人生熱っぽく」



11 年 度																	年度	
																	月・日	
3・31	3・20	3・8	2・21	11・8	11・6	11・1	10・28	10・17	9・26	9・25	7・3	7・1	7・1	7・1	6・18	4・1	4・1	
金子一盛氏（嘱託職員）、佐藤正氏の後任として勤務 婦人会館管理規則の一部改正により目的利用団体の受付 は「6箇月前」→「2箇月前」となる。 女性向け図書コーナーをロビーに開設。市立室蘭図書館 の除籍図書の再活用として約三百冊設置。自由閲覧 定期人事異動により、木村館長（主幹）は「男女共同参 画計画主幹」として社会教育課にて職務。 新館長に村岡主査が就任。 和室水屋（茶道室）の床改修 女性セミナー（教養コース）開講。9・18まで5講座 開講講演会（地域参加から市政参画へ） 講師 前夕張市議会議長 秋元嘉代氏 上越市「姉妹都市女性サミット」へパネラー2名派遣 消費者代表副馬幹子氏、漁業従事者代表中越小夜氏 道国際交流事業派遣団員として庭山淳子さん（嵐山の会） 北欧4ヶ国にて研修。10・28まで12日間 三市合同女性国内派遣研修 東京・埼玉・神奈川 研修生 山井倫子・菊地富子・大友千寿子・前田美子 引率者 木村一成主幹 女性セミナー（女性学コース）毎週土曜日5回開講 「やさしい女性学」前札女センター館長 原木昌代氏 国の少子化対策臨時特例交付金により託児室の整備。 平成11年度室蘭市婦人会館運営委員会開催 男女共同参画啓発講演会開催（プラン協と共催） 広く利用者の声を聞くため「投書箱」を設置 11年度会館利用件数二、七八六件 利用者数五〇、二八〇名																		

H11年度女性海外派遣研修
（室蘭は隔年実施）に参加
された庭山淳子さん



庭山淳子さんは、室蘭市出身で、現在、北海道庁に勤務しています。H11年度に、北欧4ヶ国（スウェーデン、フィンランド、デンマーク、ノルウェー）に派遣研修されました。研修先では、女性の社会進出や子育て支援などの取り組みについて学びました。帰国後、研修内容を市内の女性会館で報告しました。

実り多い北欧研修に
室蘭市長に出席あいさつ

庭山淳子さんは、H11年度に、北欧4ヶ国（スウェーデン、フィンランド、デンマーク、ノルウェー）に派遣研修されました。研修先では、女性の社会進出や子育て支援などの取り組みについて学びました。帰国後、研修内容を市内の女性会館で報告しました。

図書コーナー ロビーに開設

室蘭・胆振地方婦人会館



女性向け中心に開放

活発な利用呼び掛ける

女性向け中心に開放し、活発な利用を呼び掛ける。女性会館の図書コーナーは、女性向けに選定された図書を中心に、子育て支援や女性の社会進出に関する図書が充実している。また、女性会館の図書コーナーは、女性向けに選定された図書を中心に、子育て支援や女性の社会進出に関する図書が充実している。

利用者の声



婦人会館の管理、運営に活かします。ご意見をお寄せください。

年度													年度
12 年 度													月・日
3 ・ 19	2 ・ 16	12 ・ 14	11 ・ 17	11 ・ 13	11 ・ 9	11 ・ 7	10 ・ 28	8 ・ 5	6 ・ 24	6 ・ 17	5 ・ 10	5 ・ 10	4 ・ 1
主 な う ご き													
橋本まり子主幹（女性担当）、館長事務取扱いとして館長就任。 村岡徳子前館長は学校教育課主査として異動。 婦人会館定期利用団体・サークル活動内容等の調査内規による登録団体の確認と把握の為実施 放送室アンプ及びカセットデッキの取替 第2駐車場の設置。東町サティ前方歯科医師会館横女性セミナー（教養コース）開講。8・5まで5回開講講演会「三浦綾子文学に見る女性像」 講師 三浦綾子記念文学館館長 高野斗志美氏 同セミナー前期閉講式・講義 「ヒグマと私」登別ヒグマ博物館学芸員 前田菜穂子氏 女性セミナー後期（男女共生コース）5講座開講 男女共生とし、男性も共に学べる学習機会を提供。 （共生コース）第2講「女と男の素々クッキング」で男性の家庭参画を促す料理実習を初開催。 三市合同女性国内派遣研修 東京・埼玉・神奈川。 研修生 寺山好子・伊藤久仁子・松本よし・中村紀代子 引 率 矢元富子社会教育主事 副馬幹子氏、北海道社会貢献賞（男女共同参画社会づくり功労）を受賞。 男女共同参画特別講演会（勤労婦人センター30周年記念事業・プラン協と共催）「光と愛と」三浦光世氏 平成12年度室蘭市婦人会館運営委員会開催 大研修室Aに前垂机三本補充													

「苦難に挑む主人公」

室蘭市女性セミナー開講

三浦綾子 作家の魅力紹介



室蘭市女性セミナーは、三浦綾子先生の作品をとおして、女性同士の交流と学びの場を創出することを目的としています。今回は、三浦先生の代表作「潮騒」を題材に、その魅力と背景について詳しく学びました。

講師の三浦先生は、自身の創作経験から、女性同士の絆の大切さを語られました。参加者からは、「先生の言葉が心に響きました」、「自分自身の経験と重ねることができました」といった声が多く聞かれました。

セミナーは、和やかな雰囲気の中で進められ、参加者同士の交流も盛んに行われました。次回も、ぜひ多くの方の参加を期待しています。

出会い・感動・ネットワーク

三市合同国内派遣研修団
(国立女性教育会館前)女性学コース→男女共生
セミナーへ。男性受講生
も共にワークショップ。

三市合同国内派遣研修団は、三浦綾子先生の作品をとおして、女性同士の交流と学びの場を創出することを目的としています。今回は、三浦先生の代表作「潮騒」を題材に、その魅力と背景について詳しく学びました。

講師の三浦先生は、自身の創作経験から、女性同士の絆の大切さを語られました。参加者からは、「先生の言葉が心に響きました」、「自分自身の経験と重ねることができました」といった声が多く聞かれました。

セミナーは、和やかな雰囲気の中で進められ、参加者同士の交流も盛んに行われました。次回も、ぜひ多くの方の参加を期待しています。

ヒグマの生態紹介

子育てを中心に



ヒグマの生態について、専門家の先生から詳しくお話を伺いました。先生は、ヒグマの生活習慣や繁殖行動について、豊富な知識と経験に基づいて説明してくださいました。

参加者からは、「先生の話が面白かった」、「ヒグマの生態について詳しく知ることができました」といった声が多く聞かれました。

今回のセミナーは、大成功を収めました。次回も、ぜひ多くの方の参加を期待しています。



男性も一緒に考えて

セミナー「共生コース」開講

三浦綾子先生の作品をとおして、女性同士の交流と学びの場を創出することを目的としています。

今回は、三浦先生の代表作「潮騒」を題材に、その魅力と背景について詳しく学びました。

講師の三浦先生は、自身の創作経験から、女性同士の絆の大切さを語られました。

参加者からは、「先生の言葉が心に響きました」、「自分自身の経験と重ねることができました」といった声が多く聞かれました。

セミナーは、和やかな雰囲気の中で進められ、参加者同士の交流も盛んに行われました。

次回も、ぜひ多くの方の参加を期待しています。

- 17 -

13													年	度			年度							
12・4													11・27	10・23	10・18 13			10・11	7・23	7・21	6・18	4・24	4・1	月・日
主 な う ご き																								
橋本まり子主幹、館長事務取扱いを解かれ、男女共同参画計画・女性担当主幹として婦人会館にて執務。 新館長に桑原則子主査を迎える。 モニターTVとビデオデッキの新設 国の学習活動支援整備事業として「IT初心者講習会」を大研Bにて16週間開催。(担当―市総合政策課) 「室蘭市男女共生セミナー」7講座開講。男女共同参画社会づくりを目ざして女性セミナー・男女共生へ。 男女にも共に学ぶ機会を提供。男性受講生5名 「どきどきジェンダーランドの探検」奥山和弘氏 女性問題学習用のビデオ及び4月に新調した研修用モニターTV・ビデオデッキの活用をPR 婦人会館20周年記念講演会(ブラン協・利連と共催) 「21世紀、今 女性が力をつけるとき」 北海学園大学法学部教授 森 啓氏 「胆振地方婦人会館20周年・利用者連絡会15周年記念フェスティバル」開催(利用者連絡会と共催) 新しい21世紀社会が目ざす「ジェンダー川柳展」や「ワークシヨップ」「自主参加事業」「学習情報展」の増加や文化、料理関係部門のレベルアップ等、時代の進展を反映した総合的な女性のまっぴりとなった。 「三市合同女性国内派遣研修」 研修生―北浦淳子・牧野順子・佐々木利子・黒川多美子 引 率―桑原則子館長 「室蘭市男女共同参画計画提言懇話会」発足。23名 上磯町ブラン協と室蘭市ブラン協との意見交換会 「男女共同参画啓発図書」(預託図書)の利用をPR																								

利用者に大好評

館長補佐 桑原

男女共同参画図書

「男女共同参画図書」は、室蘭市にある図書で、男女共同参画の推進に役立つ書籍や資料を集めた。利用者は、館内にある図書コーナーで、自由に閲覧できる。また、貸し出しも行う。利用者は、館内にある図書コーナーで、自由に閲覧できる。また、貸し出しも行う。



「男女共同参画図書」は、室蘭市にある図書で、男女共同参画の推進に役立つ書籍や資料を集めた。利用者は、館内にある図書コーナーで、自由に閲覧できる。また、貸し出しも行う。利用者は、館内にある図書コーナーで、自由に閲覧できる。また、貸し出しも行う。

男女共同参画社会を
川柳でアピールを

室蘭市教委など作品募集

「ジェンダー川柳展」は、室蘭市にある展覧会で、男女共同参画の推進に役立つ川柳作品を集めた。展覧会は、館内にある展覧コーナーで、自由に閲覧できる。また、貸し出しも行う。展覧会は、館内にある展覧コーナーで、自由に閲覧できる。また、貸し出しも行う。

会館20周年記念フェス
「ジェンダー川柳展」の
作品募集

来月12日から「ジェンダー展」

「ジェンダー」を学ぶ

館長補佐 奥山さんが講演



館長補佐に接見されているジェンダーについて学んだ「男女共生セミナー」

「ジェンダー」を学ぶ。館長補佐 奥山さんが講演。講演は、館内にある講演コーナーで、自由に閲覧できる。また、貸し出しも行う。講演は、館内にある講演コーナーで、自由に閲覧できる。また、貸し出しも行う。

15年度	14年度	13年度	年度
6・4・1 21	2・2・1 19・12・31	11・10・7 18・24・27	1・月・日
男女共同参画計画主査に山本美栄氏就任 室蘭市男女共生セミナー前期開講講演会 「女と男である前に人でありたい」 講師 北海道ボランティアコーディネーター協会 鳥居一頼氏 8・22まで4講座 男女共同参画週間事業（く29）懇話会が公募したキャッチフレーズとシンボルマークの展示	室蘭市男女共同参画計画提言懇話会「提言書」男女平等参画社会の実現に向けて」提出 男女平等参画基本計画策定委員会を設置 平成14年度室蘭市婦人会館運営委員会開催 室蘭市男女共生セミナー開講講演会 「男女の新しい生き方」～家庭で 職場で～ 講師 北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」 所長 三隅佳子氏	男女共同参画計画に関する市民アンケートの実施 温水ボイラー改修工事 室蘭市男女共生セミナー開講講演会 「経済的必然、それが男女共生社会」 講師 札幌国際大学助教授 加藤敏明氏 11・18まで6講座 三市合同女性国内派遣研修 東京・埼玉（嵐山町） 研修生一岡嶋みどり・木戸ノブ子・野原ひろみ・渡部純子 引率一橋本まり子主幹	主 な う ご き



男女共同参画シンボルマーク
西嶋君（御前水中）の作品に
キャッチフレーズ「男だから 女だから」に決定

なくそう
「男だから 女だから」

実現しよう「平等社会」

室蘭市男女共同参画懇話会が提言



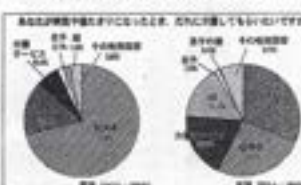
相談窓口開設も盛り込む

市教委に31日提出
室蘭市男女共同参画懇話会（以下、懇話会）は、男女共同参画計画の策定に向け、提言書「男女の新しい生き方」～家庭で 職場で～を、31日市教委に提出した。提言書には、男女共同参画計画の策定に向けた具体的な提言が盛り込まれている。また、相談窓口の開設も盛り込まれている。

条例や行動計画求める

結婚による改姓 男性も6割OK

「男女共同参画」室蘭市民アンケート



「夫婦別姓」は半数が支持

性別による格差解消
中高年者の意識高く
「夫婦別姓」は半数が支持
室蘭市男女共同参画懇話会が実施した「男女共同参画」市民アンケートの結果、結婚による改姓について、男性は6割がOKと回答した。また、性別による格差解消について、中高年者の意識が高く、半数が支持した。

17 年 度							16 年 度				年度	
10 ・ 22	8 ・ 25	7 ・ 9	6 ・ 25	6 ・ 9	5 ・ 16	4 ・ 1	2 ・ 24	2 ・ 21	2 ・ 15	11 ・ 27	月・日	
館長に石澤有子氏就任 平成17年度第1回室蘭市婦人会館運営委員会開催 平成17年度室蘭市男女共生セミナー運営ボランティア活動開始(8名) 男女共同参画記念週間フォーラム2005 「男性から考える男女共同参画社会」 講師 北海道武蔵女子短期大学教授 平岡祥孝氏 (共催) 室蘭市男女共生セミナー前期開演講演会(市民会議共催) 「高齢化社会と家族」新しい家族観 講師 札幌大学女子短期大学部助教授 能登洋子氏 9・16まで3講座 三市合同女性国内派遣研修 東京・埼玉(嵐山町) 研修生 前田節子・沼田貞子・東 和子 引率 石澤有子館長 室蘭市男女共生セミナー後期開講。12・3まで4講座							室蘭市男女共生セミナー後期開演講演会 「21世紀変わりゆく家族像」 講師 ノンフィクション作家 久田 恵氏 (悠悠ライフ・家庭教育セミナー共催) 平成16年度室蘭市婦人会館運営委員会開催 全庁的組織として「室蘭市男女平等参画行政推進本部」を設置 「室蘭市男女平等参画推進市民会議」が設置され、市民と行政が協働して、計画を推進				主 な う ご き	

室蘭市の男女平等参画基本計画

実現へ本格始動



官民双方の体制整う

企業、市民の共通理解が課題

室蘭市は、男女平等参画基本計画の策定から、実現に向けて本格始動した。市は、官民双方の体制を整え、企業と市民の共通理解を課題として取り組む。基本計画は、男女平等参画の推進を図るための基本となるもので、市は、この計画に基づき、様々な施策を実施していく。特に、企業と市民の共通理解を促すことが、計画の実現に向けた重要な課題と認識している。市は、企業に対して、男女平等参画の推進を働きかけ、市民に対して、男女平等参画の意義を説明し、理解を得ようとしている。



男女共同参画記念週間
フォーラム2005

室蘭市男女平等参画推進市民会議



講演会とパネル
ディスカッション
理想の家族考へ



室蘭市男女共生セミナー
「21世紀変わりゆく家族像」
久田 恵氏
講演

- 22 -

年度	主 な う ご き	年 度	18 年	12 月	11 月	10 月	10 月	10 月	7 月
月・日		10・24	9・2	10・14	10・18	10・21	10・26	11・8	12・2
	室蘭市男女共生セミナー前期開講講演会（市民会議共催） 「高齢者ケアと家族エンダー」 講師 北海道教育大学札幌校教授 笹谷春美氏 9・16まで3講座 三市合同女性国内派遣研修 東京・埼玉（嵐山町） 研修生―高木ひろ子・蜂谷アヤ子・池端敦子 引 率―越田京子主査 指定管理者自主事業「はじめての料理教室」（全3回） 指定管理者自主事業「第6回フェスティバル」 基調講演「子どもが育つ家庭の絆」 講師 登別市立若草小学校校長 鳥居一頼氏 室蘭市女性国内派遣研修報告会開催 室蘭市男女共生セミナー後期開講、12・2まで4講座 男女平等参画出前講座開催（市民会議） 指定管理者自主事業 「はじめて学ぶパソコン講座」（全5回） 室蘭市男女共生セミナー後期開講講演会（市民会議共催） 「エンジョイ マイライフ！いきいき 参画！」 講師 NHK解説委員 飯野奈津子氏 平成18年度室蘭市男女平等参画センター運営委員会開催								

〔参〕 2006年(平成18年)12月4日(内閣府)



「尊重し合う」と大切

解読委員 体験談交え紹介



男女共生セミナー第4講と第5講
活発な意見交換がなされた。



(9) 2005年(平成17年)7月24日(月曜日)



余暇との両立必要

介護のあり方を探る

[illegible]

国会議事堂を見学

中國人民銀行 中國人民銀行

各団体の女性リーダー

70

[illegible]

たき

三浦 洋子

教授



WILEY-INTERSCIENCE

昭和五十八年に、日本

[illegible]

「*My Little Pony: Friendship is Magic*」
「*My Little Pony: Friendship is Magic*」

1990年10月1日	1990年10月1日
------------	------------

[illegible]

2010

15

とれた

第41
なさ

ナ
イカ

世三
見交

共生
な意

男女
舌

100